

# 「友松」の変遷 II

2011.2.3 発行  
シリーズ 2-13  
「友松」48号

友松会報 昭和35年1月30日(土曜日)

年頭所感 小林海茂  
新春所感 黒沢清

発行所 神奈川県横浜市西区新横浜五丁目三番地 友松会報編集委員会  
電話 03-5389-5959  
編集人 森田誠太郎  
発行人 西川 豊吉

昭和三十四年一月現在  
会員名簿

会運営の新しい行き方である」と、新しい常任理事、部会の進めかたが決められたようである。

総会は、元来毎年開催されるべきものだが、前回から6年目に開かれたという。総会には300名余の参加者が、江の島「ヘルスセンター」で盛大に行われたと報告されている。今回の総会開催までの間は、各支部で支部総会を開いて、総会に代えていたようである。

常任理事会は、母校学芸学部で開催され、常任理事の改選が行われている。

この年の常任理事会で「40名を超える常任理事の単一会同の不合理是正のため、会長は、常任理事を総務部、渉外部、弘報部、厚生部、経理部の部会に分掌の案を提示した」と報告され、「各部の自主的活動こそ、これからの本

友松会報 昭和35年1月30日(土曜日) (2)

常任理事選定

常任理事部会分組

総務部 部長 黒沢清 副部長 山田清治  
渉外部 部長 山田清治 副部長 山田清治  
弘報部 部長 山田清治 副部長 山田清治  
厚生部 部長 山田清治 副部長 山田清治  
経理部 部長 山田清治 副部長 山田清治

増殖病院長 相沢義雄

神奈川カウセリ  
ンク研究会につ  
いて

友松会報 昭和35年1月30日(土曜日)

山香荘ときめて

次は綱島

なつかしい  
クラス会

川名 博

報告と同様であるが、写真を見るとその時代がおく反映されている。

文芸欄には、詩、俳句、短歌、近況報告、等々が毎号数多く投稿され、会員を楽しませてくれていたようである。

クラス会の報告が毎号に載せられていて、学生時代の様子や寮生活の楽しさ等が報告されている。現在の「同期会」

友松会報 昭和35年1月30日(土曜日) (8)

少年路

句稿

短歌

鎌倉附属から